

新型コロナウイルス感染 拡大防止のため9か条

1 3つの「密」を避ける

○ 3つの条件(3つの「密」)がそろう場所がクラスター(集団)発生リスクが高いと言われています。新型コロナウイルスの感染拡大防止のための対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要だと言われています。そのために、3つの「密」が重ならないように工夫しなければなりません。小学校でも、十分に対策を講じていきましょう。



- 01 密閉空間を避ける
- 02 密集場所を避ける
- 03 密接場面を避ける

以下、朝起きて登校から下校までの中で、実施する対策について、共通理解を図り、確実に実践をしていきましょう。

① 換気の悪い
密閉空間

② 多数が集まる
密集場所

③ 間近で会話や発声をする
密接場面

(イラスト：厚生労働省HPより)

2 毎朝の体温測定を確実に ～[体温カード]の提出・チェックを～

○ 新型コロナウイルス感染の疑いがあるとされる場合の中に、高熱がある場合があります。子ども達も先生方も、毎朝の体温測定をお願いします。熱があるとき、息苦しさやだるさ、風邪の症状がある場合は、「出席停止」扱いとなります。

3 マスクの着用 ～登下校時、学校内において～

○ 感染していても症状が出ていない人もいて、知らず知らずのうちにウイルスを拡散している場合もあると聞きます。感染拡大防止のために、子ども達も先生方も、通常はマスクの着用をお願いします。布マスクは、帰宅後毎日洗濯をし、翌日清潔なものを着用するよう児童に声かけを。



4 毎朝の検温の実施 ～登校して教室に入るときに～

○ 朝、登校してきたら、児童玄関で検温の確認をします。検温が済んでいない児童は、職員室前で検温します。

5 教室の机の間隔を広く ～3つの「密」・密集場所を避ける～

○ クラスター(集団)発生リスクの1つである密集場所を避けるために、教室の児童机の間隔をできるだけ広くとるようにしましょう。

6 小まめに換気をする ～3つの「密」・密閉空間を避ける～

○ クラスター(集団)発生リスクの1つである密閉空間を避けるために、向かい合った窓をあけて授業をしましょう。
※季節や天候によって、窓が開けにくくても、休み時間には必ず換気を行います。

7 授業・給食中の交流制限 ～3つの「密」・密接場面を避ける～

○ クラスター(集団)発生リスクの1つである密接場面を避けるために、授業中はマスク着用で、隣同士やグループでの交流は必要最小限で。給食も前向きで。先生は、マスクを外してもいいですが、机間指導の際は、マスク着用をお願いします。

8 正しい手洗いを

○ 給食前や休み時間後やトイレ後、図書館利用前後等には、確実に手洗いを行いましょう。右図を参照に各学級で正しい手洗いの指導を。

正しい手の洗い方

- ① 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。
- ② 手の甲をのぼすようにこすります。
- ③ 指先・爪の間を念入りにこすります。
- ④ 指の間を洗います。
- ⑤ 親指と手のひらをねじり洗いします。
- ⑥ 手首も忘れずに洗います。

手洗いの前に

- ・爪は短く切っておきましょう
- ・時計や指輪は外しておきましょう

9 その他の注意

- 01 毎日の作業
 - 教室等のドアノブ等の消毒
- 02 偏見や差別につながるような行為は断じて許されない
 - 差別に正当な理由はありません。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。